



見附市立見附小学校 学校だより

「自ら学び 進んで鍛え 共に伸びる見小の子」

みしょう

No. 369

令和7年12月22日（月）発行

〒954-0052

見附市学校町1丁目3番89号

Tel 0258 (62) 0141



明日行きたくなるところ

校長 後藤 正美

「一人は好き、孤独は嫌い。」

テレビCMでこんな言葉が放送されていました。SNS時代だからこそ、つながりを求めるその一方で、自由に生きたいという心情を表しているのでしょうか。若者を中心に共感を生む言葉なのかもしれません。見方を変えると、孤独を何よりも恐れる時代なのかと考えさせられます。

では、こうした時代を生きている子供たちにとって、学校で学ぶことは何でしょうか。学校に集まる意味は何でしょうか。確かな学力を身に付けることは、もちろん大切です。しかし、もう一つの大切な役割は、「人間形成も含めた学びの場」であるということです。集団の中でしか学べないことがあります。例えば、上の写真左は1年生教室に掲示されている「花まる」の行動です。人とかかわるうえでの大切な生活スキルを、日常の行動を通して学んでいます。SNS上で交流し合う言葉と、オフィシャルの場面でなすべき言動は異なるのです。使い分ける力が求められます。

また、写真右は5年生が4年生に対して鼓笛演奏を教えている場面です。日頃接することのない異なる学年の子どもも、かかわり合えること。これも大切な経験です。人と直接かかわる中で、子供の人格は形成されます。確かに子育ては悩みの連続であり、様々な心配事が出てきます。一喜一憂して当然です。しかし、私たち大人が見ていくべきことは、3月の子供の姿。4月と比べて成長の姿が見られるかどうかです。

学校とは

心をぼろぼろにするところではなく、心を磨くところ
怠けるところではなく、努力するところ
仲間はずれにするところではなく、認め合うところ
みんなが待っているところ
また明日行きたくなるところ

（福島県三春町 武藤元教育長『やればできる学校革命』より）



旧校舎の校門

そんな見小となるように、「学校がやるべきこと」と「家庭がやるべきこと」を、地域の皆様と連携しながら3学期も進めてまいりましょう。

皆様お揃いでよいお年を迎えられることを、心よりお祈り申し上げます。